

近年、働き方の非正規化・不安定化は、「労働力の女性化」（労働力に占める女性の増加）とともに進行しつつ、雇用全体を侵食してきました。本講演会では、表象研究と労働論の観点からこの問題にアプローチします。第一報告では、現代の日本で働く女性の状況を予見していたともいえる、2000年以降の日本映画に映る「女教師」像の表象分析から考察します。第二報告では、生存を脅かす労働の現状を労働自体の「女性化」と捉え、生き延びるための運動としてのフェミニズムを展望します。

杉本和子

大阪公立大学客員研究員

ゆらぐ「女教師」像

— 2000年以降の日本映画の表象分析から —

伊田久美子

大阪府立大学名誉教授・大阪公立大学客員研究員

労働の「女性化」と生き残りの展望

大阪公立大学女性学研究センター主催 2023年度男女共同参画事業

非正規化する 女性職

11/18 2023
Saturday

14:00-16:30

対面受付開始 13:30

大阪公立大学中百舌鳥キャンパス

B3棟2F 208講義室

参加費無料

生存のためのフェミニズム

対面とオンラインのハイブリッド開催 (Zoom 利用)

定員 (先着順): 対面 50名 オンライン150名 (定員に達し次第、申込締切前であっても受付終了とさせていただきます)

申込方法: 対面参加、オンライン参加希望者ともに、女性学研究センターWEBサイト、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

申込締切: 2023年11月15日(水) 17時

お問合せ先: 女性学研究センター

Zoomのアドレスを11月16日(木)にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、11月17日(金) 16時までに女性学研究センター (www.omu.ac.jp/sss/cws/) にご連絡ください。

アクセスマップ: <https://www.omu.ac.jp/about/campus/nakamozu/>

コーディネーター: 内藤葉子 (大阪公立大学)

